こんにちは、小川あきらです。

きらきら通信

秋号
2019.11月

議会報告

新知事を迎えて

災害に備えて、身の回りでできる準備をもう一度確認しましょう！

豆知識
ヘルプマークをしっていますか？

厚生文化常任委員会・県内調査

厚生文化常任委員会・県外調査

決算特別委員会

群馬県議会議員 リベラル群馬

ご挨拶　2019年秋

台風・豪雨によって被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く元の生活に戻れるように、私もできる限りの支援をしっかり行っていきたいと思います。県内の嬬恋村をはじめ、近県の多くの被災自治体でボランティアの助けを必要としています。各市区町村の社会福祉協議会のホームページをご確認の上、ぜひご協力をお願いいたします。地球温暖化の影響により、今までにない規模の気象災害が多発しています。自然の驚異を見せつけられるたび、災害に備えることの大切さを改めて感じています。日頃から積極的に防災・減災について考え、互いに協力し、助け合える地域社会を作っていきたいですね。さて、県議会議員として3期目となり、議会活動や地域活動など、これまで以上に忙しい毎日を過ごしています。県外に行く機会や各団体から講師を頼まれることも増えてきました。貴重な経験や皆さまから頂いたご意見をしっかり県政に活かしてまいります。引き続き、皆さまのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

災害に備えて、身の回りでできる準備をもう一度確認しましょう！

気象庁「大雨や台風に備えて」パンフレット

① 家の外の被害に備えよう
（窓や雨戸の補強、側溝や排水溝の掃除など）

② 家の中の被害に備えよう（断水に備えポリタンクを用意）

③ 飲料水や非常食などを備蓄しよう（3日分の食料、ライターや固形燃料など）

④ 停電に備えよう（携帯の予備バッテリーや懐中電灯の準備）

⑤ 非常用持ち出しバッグを準備しよう（食料、貴重品、救急用品、軍手、携帯ラジオなど）

⑥ 自宅や勤務先からの避難場所や避難経路を確認しておこう**（防災マップやハザードマップの確認を）**

⑦ 安否確認の方法を家族で共有しておこう

⑧ 災害時には外出を控えよう**（川や用水路の見回りは絶対にしない）**

⑨ 命を守るため、早めの避難を！

⑩ ネットやラジオなどあらゆる方法で情報収集を**（群馬県防災ポータルサイトや各自治体の災害情報を確認）**

ぐんまベトナム交流祭

群馬県総合防災訓練

各町納涼祭

群馬eスポーツフェスティバル

議会報告

令和元年第3回定例会が、9月18日（水）から12月16日（月）までの90日間の会期で開催されています。
前期定例会では、動画スタジオの整備（1億1684万円）や交差点の安全対策強化、児童虐待の対応強化など総額44億5742万円の一般会計補正予算など21議案のほか、豚コレラのワクチン接種経費など約9億円の追加補正予算を可決しました。

動画スタジオイメージ

新知事を迎えて

山本新知事のもとでの本格的な議会がスタートしました。知事に就任して間もなくの豚コレラ対策、台風被害への対応、中期財政見通しの公表とスピード感と緊張感を持ったやり取りが続いています。
知事は、「①県民の幸福度を向上させることと②県民の新たなプライドを醸成することに力をいれ、人口の流出に歯止めをかけ、住みたいと思う故郷を創生していく。世界で1人しかいない知事になって、群馬を世界中に発信したい」と決意を表明しました。そして、発信の方法として、県庁の最上階に動画スタジオを整備するとのこと。来年度の予算編成において未来に向けた健全な予算が組めるかどうかが一つの山場となります。今後も是々非々の立場で、しっかりと対峙していきます。

ヘルプマークをしっていますか？

県議会の豆知識

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。東京都から始まったこの取り組みは全国に普及し、群馬県でも「群馬県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」に定める「障害者が必要な支援を求めやすい社会」を実現するための一助となるよう、2019年8月からヘルプマークを配布しています。ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークが必要な方は、以下の場所で受け取ることができます。

- 県庁障害政策課
- 県各保健福祉事務所
- 市役所、町村役場
- 心身障害者福祉センター
- 発達障害者支援センター
- こころの健康センター
- 群馬県社会福祉協議会
- 群馬県身体障害者福祉団体連合会

引用：群馬県HP

ぐんま酒と食の祭典

むろりんむらの流し素麺

茂木紘一個展

ナース×介護でつくる働き方改革 in ぐんま

厚生文化常任委員会・県内調査

2019.8.20

議会の閉会中も、常任委員会を開催し、県立精神医療センターと就労継続支援事業所ブルーオーシャン、県立障害者リハビリテーションセンターの現地調査を行いました。

1 県立精神医療センター

群馬県では、精神科救急情報センターと警察、県内精神科病院が連携し、三次救急の充実や移送体制の確立など全国に誇る精神科救急システムを整備しています。精神医療センターはその基幹病院として移送体制と通報による救急入院の約2/3の受け入れ、そして措置入院に対応しています。適切な治療と併せて、社会復帰した後に孤立しないよう地域で支えていく仕組みづくりが課題です。

2 就労継続支援事業所ブルーオーシャン

こちらは、今年の4月に開所したばかりの社会福祉法人「宝寿会」が運営を行う就労継続支援B型事業所。県立障害者リハビリテーションセンターの旧作業棟の再生活用事業の一環として施設の有効活用を図っています。
県内に拠点を置くリネン会社と提携し、タオルやふとん、毛布のクリーニングを行っており、安定した作業委託を確保できている一方、現在の課題は働く障害者がまだまだ不足していること。定員20名のところ現在はその半数の雇用となっています。まずは見学や体験など多くの人に施設を見てもらいたいですね！

3 県立障害者リハビリテーションセンター

身体障害者の総合施設で、平成29年には自立訓練（生活訓練）を行う南棟を新築し、平成30年度に北棟の改修工事を実施。建設当時から利用者やスタッフの意見をたくさん取り入れて、素晴らしい施設になりました。障害者支援の拠点施設として先進的な取り組みを期待します。

厚生文化常任委員会・県外調査

1日目 認知症「神戸モデル」の取り組みについて調査

神戸市では平成31年1月から、65歳以上を対象に、①無料の早期診断の実施と②認知症と診断された場合の事故救済制度（賠償責任保険、24時間対応のコールセンター、GPSかけつけサービス、見舞金などの4つの安心サービスが無料で受けられる制度）を組み合わせた全国初の取り組みを実施しています。

事故救済制度は、もしもの時に、被害者も加害者も、そのご家族も安心できる画期的なもの。これは是非、群馬でも検討したいし、本来は国で制度化するべき内容かな、と思います。

一番驚いたのは、この神戸モデルに必要な費用約3億円を市民が負担しているということ（個人市民税均等割で1人あたり年間400円を超過課税しているそうです。）

これからどんどん増えていくと予想される認知症。認知症の方に優しい取り組みが全国に広がれば、いつか自分や身内が認知症になっても、日本中どこに行っても安心して暮らせるようになりますね。

まだまだ取り組みを始めたばかりで、今後は早期診断を受ける人を増やす取り組みや、認知症疾患医療センターや地域包括ケアセンターを拠点に適切な医療や日常生活支援につなげていく仕組みに期待したいところ ^_^

目からウロコばかりの素晴らしい視点を学ばせていただきました！

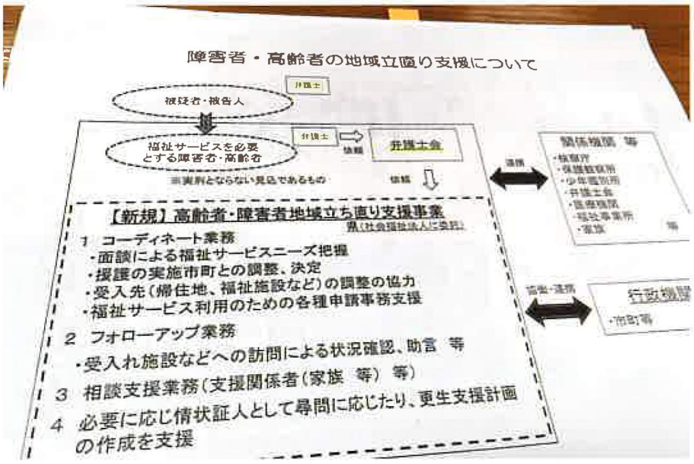
2日目 午前 兵庫県の再犯防止の取り組みについて調査

兵庫県は、平成25年度から国と県・市町村の関係部局、民間団体等が参画して「兵庫県再犯防止対策関係機関連絡会議」を開催し、全国に先駆けて、受刑者の出所後の就労支援、生活支援等再犯防止を推進しています。

現在は福祉・雇用・住居の3部門での取り組みを進めていて、違法行為等をした障害者・高齢者への地域生活定着支援事業、刑務所出所者等雇用導入促進事業、矯正施設退所者に対する県営住宅への入居などを行っています。

特に、起訴猶予になった高齢者・障害者の支援では、弁護士会から地域生活定着支援センターへ繋ぐ仕組みが確立されていて、大変勉強になりました。

群馬県でも今年から再犯防止の取り組みが始まったばかり。市町村や関係団体としっかり連携していきたいですね。



2日目 午後 愛知県庁で、保育士の人材確保対策について調査

愛知県では平成25年より「愛知県保育士・保育所支援センター」を開設し、保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」の再就職支援や保育所の人材確保の支援等を行っています。保育の仕事に関する保育士、保育所双方の相談に応じるとともに、ハローワークと連携した就職マッチングまでを行っているそうです。

群馬には保育士・保育所支援センターは無いものの、今年度は潜在保育士の調査を行う予定で、保育士不足や保育現場の働き方改革に繋がるヒントをいただきました。

保育士の負担軽減のための保育補助者や保育支援者の配置はなかなか良いかも！ぜひ群馬県でも検討したい制度です。

3日目 愛知県長久手市の買い物リハビリテーションの取り組みについて調査

こちらでは、65歳以上の人を対象に、介護予防と買い物支援を組み合わせた「買い物リハビリテーション」を実施。自宅からスーパーまでの送迎→介護予防のための体操・トレーニング→買い物自由時間（→ランチタイム）をスーパーの一角を借りて行っています。

参加者の中には90歳を超えるおばあちゃんもいて、以前は家に閉じこもり気味だったけど、今は毎週の買い物リハが楽しみで、足腰もしっかりしてきたとのこと。

身近な地域資源を活用して、各地域でこのような取り組みができるといいですね＾_＾

決算特別委員会

10月9日から10月26日までの間、決算特別委員会を設置し、平成30年度の決算審査を行いました。決算は過去に実施した事業や予算の執行状況を見直し、来年度の予算編成に反映させる議会の重要な役割です。税金が適切に使用されたかどうか、効果はどうだったのか。限られた予算の中で最大限の効果を上げられるように、しっかりとチェックする必要があります。

- **歳入総額…………7353億円**
- **歳出総額…………7280億円**
- **県債残高…………1兆2434億円（前年度比＋158億円）**
- **積立基金残高……138億円（前年度比＋8億円）**

決算特別委員会の現地調査

決算審査に先立ち、現在の東部児童相談所と移転整備の進捗状況について調査をしました。
現在の東部児相は太田保険福祉事務所の一階に間借りしていて、事務室も非常に手狭になっています（当初は15人だった職員数が現在は32人に増えているとのこと）。会議室やプレイルームは一旦外に出てプレハブを利用しています。
一方で、中央児童相談所の一時保護所で保護した子どもの数は年々増加しており、定員超過が発生しています（昨日時点で定員36名に対して61名を受け入れているそうです）。

こうした状況を解消するため、昨年から東部児童相談所の移転と新たな一時保護所の整備を進めています。
移転後の東部児相には子どもたちがゆったり遊べる体育館やプレイルームもあり、事務室にはさらに職員が増えても対応できるスペースを確保。敷地内には桜の木がたくさんあって暖かい雰囲気を与えてくれますね。
ハード面の整備に加え、今後は児童福祉司や児童心理司の増員や職員の研修の充実、児童相談所の体制や専門性の強化を図る必要があります。
来年4月にはいよいよ県東部に定員30名の一時保護所がスタートします。

決算の総括質疑に登壇

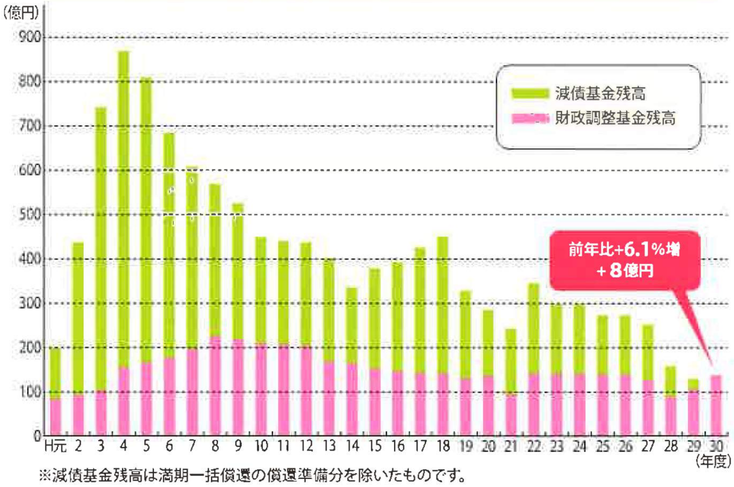
会派を代表して、決算の総括質疑をしました。相次ぐ災害に備えてどのくらいの基金を確保していくのか、県債残高の増加にどうやって歯止めをかけていくのか、来年度予算編成に向けて、知事・執行部の認識を質しました。

① 県の財政状況について

- 実質交際費比率や将来負担比率の全国順位が下がっているが、財政状況についてどのように認識しているか。
- 積立基金が年々減少しているが、災害リスクに備えるためにも積立基金を確保することが重要である。来年度予算に向けた考えはどうか。

群馬県の積立基金

● 積立基金（財政調整基金、減債基金）の年度末残高は、前年度末に比べ＋8億円増の138億円となりましたが、近年減少傾向にあります。

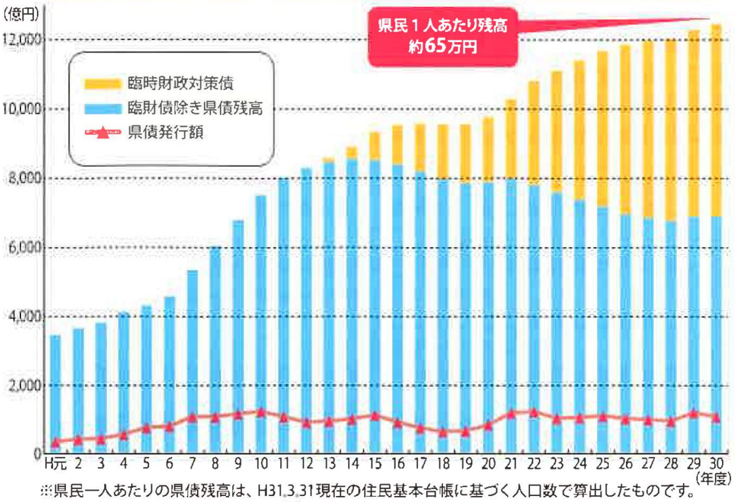


※減債基金残高は満期一括償還の償還準備分を除いたものです。

- このまま臨時財政対策債が増え続けると、県財政の硬直化を招く恐れがあるが、どのように認識しているか。

群馬県の県債

● 県債残高は1兆2,434億円で、前年度に比べ+158億円増加しました。
● 実質的な地方交付税である臨時財政対策債を除いた県債残高は6,905億円となり、前年度に比べて+12億円増加しました。



※県民一人あたりの県債残高は、H31.3.31現在の住民基本台帳に基づく人口数で算出したものです。

臨時財政対策債とは… 豆知識

国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体で借金をしてまかなっておくために発行する県債のこと。当初は3年間の臨時的措置として導入されたが、地方交付税の原資不足が解消しないため、延々と国の借金の肩代わりが続いていて、県債残高の半分を占めるまで膨らんでいます。

② Gメッセ群馬について

- 稼働率を上げるとともに、その先に県内企業の受注や雇用創出に繋ぐことが重要だがコンベンション産業の振興の取り組みと成果はどうか。
- 将来の大規模改修や建設費の県債償還など今後のトータルコストについてはどのように検討しているか。

③ 県政情報の発信について

- 平成30年度の広報についてはどのような取り組みを行ったか。
- 今後はSNSを活用した広報も重要だと考えるが、県の取り組みはどうか。（イベント情報がメインだが、災害時の情報発信にも取り組んでもらいたい。）
- 災害時の情報発信については、どのような取り組みを行っているか。（群馬県防災ポータルサイトの周知を徹底してもらいたい。）

④ 平成30年度の蚕糸業振興の取り組みと成果については、どうか。

活動報告

主な地元活動・参加行事

（掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。）

8月 3日 各町納涼祭
8月 4日 むろりんむら流し素麺、各町納涼祭
8月 5日 連合議員懇学習会
8月 9日 犯罪被害者支援条例勉強会
8月 10日 スマイルフェスティバル in前橋、前橋花火大会
8月 11日 群馬県防災ヘリコプター事故合同追悼式
8月 15日 群馬県戦没者追悼式、前橋市戦没者追悼式
8月 16日 議会運営委員会
8月 17日 宇宙少年団前橋分団キャンプ
8月 18日 安中市子ども食堂フェスタ
8月 19日 厚生文化常任委員会
8月 20日 前橋JC・通常総会
8月 23日 臨時議会
8月 24日 前橋地協マス釣り大会、各町納涼祭
8月 25日 ホリデーイン前橋
8月 31日 群馬県eスポーツフェスティバル
9月 1日 県政報告会
9月 3日～5日 厚生文化常任委員会県外調査
9月 7日 群馬県総合防災訓練
9月 8日 ナース×介護でつくる働き方改革 in ぐんま
9月 11日 議会運営委員会
9月 14日 道路清掃ボランティア、太田JC55周年記念式典
9月 16日 各町敬老祝賀会
9月 18日 本会議、前橋東ロータリー合同夜間例会
9月 21日 各小学校運動会、茂木紘一個展
9月 22日 動物愛護ふれあいフェスティバル
9月 23日 中之条ビエンナーレ、利根川新橋シンポジウム
9月 24日 一般質問
9月 25日 一般質問
9月 27日 一般質問、前橋JC・9月例会
9月 28日 群馬県狩猟フェスティバル
10月 1日 厚生文化常任委員会
10月 2日 厚生文化常任委員会
10月 4日 ぐんまベトナム交流祭
10月 6日 東地区市民運動会、お山の縁日
10月 7日 前橋市から群馬県知事への要望
10月 8日 議会運営委員会・議員団会議
10月 9日 本会議
10月 10日 臨時議会、農業week
10月 15日 決算特別委員会
10月 16日 台風状況の説明会、決算特別委員会
10月 20日 東地区グラウンドゴルフ大会、江田町文化祭
10月 25日 決算総括質問
10月 26日 理研鍛造秋まつり、男女共同参画講座、連合レセプション
10月 27日 あそか祭り、前橋市少林寺拳法大会
10月 28日 参議院選挙総括会議
10月 29日 議会運営委員会、議員団会議
10月 30日 本会議
10月 31日 前橋東ロータリー合同夜間例会、市民の時代を創るぐんまの会役員会
11月 2日 GBGB福祉チーム打ち上げ
11月 3日 ぐんまマラソン
11月 4日 秋の夜長の感謝祭
11月 5日 小川あきら後援会ゴルフコンペ
11月 5日 ～6日 総合計画に関する特別委員会県外調査
11月 8日 熊野神社酉の市
11月 9日 東公民館文化祭、2020高校総体カウントダウンイベント、金井ワールド情報交換会
11月 10日 前箱田町園芸愛好会
11月 11日 ～12日 議会運営委員会県外調査
11月 15日 社会福祉協議会前橋福祉大会
11月 16日 まえばし学校フェスタ2019

Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/ GO!

ぐんま狩猟フェスティバルに行ってきました♪

投稿日：2019年9月28日

何とも斬新な企画ですが、会場には予想以上にたくさんの人が来てくれて、狩猟免許相談ブースには若者や女性の姿も！女性のハンターは年々増えているそうです。
山間地域の野生鳥獣による農作物被害は減少傾向にありますが、最近では市街地に野生鳥獣が下りてきてしまったり、野生イノシシによる豚コレラ感染も懸念されているので、多くの人に関心をもってもらいたいですね^_^

前橋市からの知事要望

投稿日：2019年10月7日

前橋市からの群馬県知事への要望に同行。10項目に絞った最重要課題について、意見交換を行いました。
知事からは、県都前橋の要望はしっかり検討したいという意気込みと有害鳥獣の捕獲に関連して豚コレラ対策の最新の状況を共有していただきました。
豚コレラ対策については、今日の午前10時30分に特定家畜伝染病対策本部を設置し、既に出されている各養豚農家宛の消毒命令を改めて周知するなど、更なる対策の強化を進めています。
また特にインフラに関連する要望については、事業の重要性に理解を示しつつ、財政の健全化の観点から、限られた予算の中で何を優先するのか、場合によってはスクラップする部分も必要だという趣旨のお話も。個人的には全くその通りだと思っているので、今だけを見るのではなく未来に向けて思い切った議論をしていきたいと思います。

【前橋市からの要望項目】

1. 公有資産の有効活用へ向けた連携強化について
2. 有害鳥獣の広域的視点での捕獲推進について
3. 企業誘致に係る連携強化について
4. 蚕糸業継承対策事業の継続・拡充及び養蚕業のさらなる振興対策について
5. 幹線道路等の整備について
6. 国庫補助事業に係る予算確保について
7. 通学路における安全対策の実施について
8. スクールロイヤー活用による相談体制の構築について
9. 県央第二水道に係る受水単価等の見直しについて
10. 流域下水道の維持管理にかかる市町村負担等について

サポーター・ボランティア募集

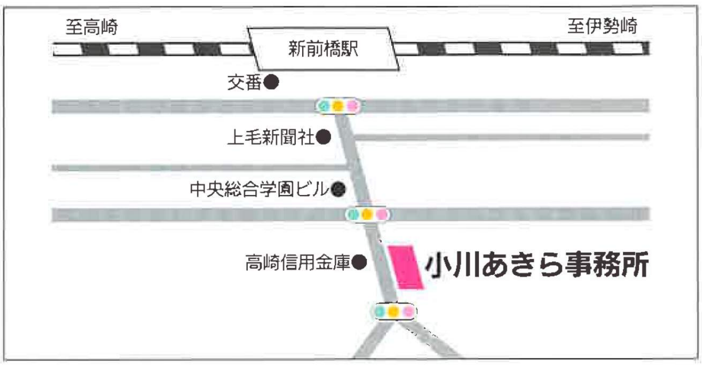
み ん な お い で よ !!

Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、
群馬弁護士会へ登録。
2011年・群馬県議会議員（初当選）。
現在3期目・リベラル群馬。

お神輿（お祭り）好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F
TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788
URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp